



# 青山まこと

## 議会報告2024年9月号

### ごあいさつ

調布市議会議員の青山まことです。昨年6月より議員となり、勉強の日々を送っています。この度第3回定例会が終わりましたので、私が行いました一般質問を中心に、市政をご報告いたします。読んでいただければ幸いです。

### プロフィール

調布市議会議員  
(一期目：チャレンジ調布所属)  
総務委員会  
調布飛行場等対策特別委員会  
広報委員会  
都市計画審議会 所属

### 令和6年第三回定例会トピックス

令和5年度調布市一般会計歳入歳出決算等を認定!!

一般会計歳入・歳出の総額 **1,078** を認定  
億円余

調布市木造住宅耐震化促進事業に追加配分!!

※対象の詳細は市HP

上限  
**15**  
万円  
耐震診断  
※耐震アドバイザー派遣は無料

上限  
**80**  
万円  
耐震改修  
・建替え  
を助成



# 令和6年第三回定例会一般質問のご報告

## 青山の 提案

調布市立図書館に電子図書を導入することで読書環境充実と利便性向上を

### 一般質問要約



青山質問

調布市内の図書館におけるICTについての考え方及びこれまでの取り組みについてはどのようになっているか？



青山質問

電子図書館については、「学校現場での1人1台タブレット端末が配布されたこと」と「電子図書館」との相性の良さも指摘される中、現在は導入を検討し、実際に導入する自治体が増加してノウハウがたまってきている一方で、電子書籍のタイトルも充実してくるという非常に参入の好機である状態であると考えられる。ここ調布市においても電子図書を積極的に導入するべきであると考えますが、市の認識は？



青山まとめ

電子図書を導入している各自治体は、各種団体から寄贈を受けたり、他自治体と共同で電子図書館を運営したりといった形で、工夫しながら電子図書館の運営の取り組んでいる。すでに多摩地域の7割の自治体が電子図書を導入していることから、他自治体の動向を十分に参考にできる。電子図書は本を読み上げることができるものも多く、視覚障害者等の読書環境の整備をはかる「読書バリアフリー法」にも資する内容である。ぜひとも進めていただきたい。

ICT施策については電算システム、市内全館オンライン化、図書館ホームページ開設、インターネットによる蔵書の予約受付、調布市立図書館デジタルコンテンツデータベースサービスやマルチメディアデジタル図書の導入などとともに、来年2月の稼働を予定しているICタグシステムを導入する予定である。

調布市

市の回答

電子図書の導入については、多摩地域の約7割の自治体で導入されており、図書館に来館することなく貸出・返却ができることや、図書館閉館中も利用できるなど、高い利便性があり、また、保管スペースが不要といったメリットがある。しかし、電子化された新刊の文芸書が少なく魅力あるコンテンツが少なく読みたい本が見当たらないこと、電子図書サービスのシステム導入・運用にかかる経費が高額であることなどが課題である。導入にあたっては、電子図書を提供する出版社サービスやシステム導入の動向、及び他自治体の動向を注視していく。

調布市

市の回答

## 青山要望

電子図書館については、イニシャルコストもランニングコストもかかるが、紙を含めた現在の図書館予算を圧迫することなく電子図書にかかる費用を支援することを強く要望